

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社 紀文西日本	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀一丁目15番27号
----	---------------------------	----	-----------------------------------------------------------

本票作成 部署名：生産効率課

主たる業種 分類コード 09 業種名：食料品製造業

事業の概要 水産練製品

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	岡山総社工場	岡山県総社市井尻野700番地

特定事業者の該当要件  ①燃料等原油換算1,500kℓ以上  ②バス・トラック100台、タクシー250台以上  ③CO<sub>2</sub>換算3,000t以上  
(●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 26 年度)	(平成 30 )年度排出量	目標年度(令和 元 年度)
	13,682 t CO <sub>2</sub>	12,023 t CO <sub>2</sub>	13,408 t CO <sub>2</sub>

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 30 )年度排出量
	①	岡山総社工場	12,023 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 27 年度 ～ 令和 元 年度 ( 5 箇年度)		
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 30 )年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	15.2 %	2.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産重量	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 30 )年度	目標年度
		0.854 t CO <sub>2</sub> /(ton )	0.724 t CO <sub>2</sub> /( ton )	0.837 t CO <sub>2</sub> /( ton )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 30 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

CO<sub>2</sub>の排出量が大きく削減できている要因は電気需給会社を、中国電力株から関西電力株に変更したためです。そのため、CO<sub>2</sub>排出係数が大きく良化したためこのような結果となりました。(契約は6月から関西電力株に変更)  
しかし、今まで同様の見方で結果を自己評価すると、生産重量が前期と比べて約3%増となりましたが、電気、ガスの使用量ともに前期対比で約1%の増となりましたが、生産重量が3%増に対して1%増に抑えられているのは前期と比較して良い使い方ができていると考えてます。

**【推進体制】**

日々のエネルギー使用量の確認を行い、各生産ラインごとの電気、ガスの使用量を計画対比で確認し使用量から、使い方、設備異常など見つけ出し対策を行っている。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山総社工場	<p>(30年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電力会社切り替え (6月より)</li> <li>・加熱設備への保温材取付けによる加熱設備の使用ガス量削減と加熱エリアの作業温度上昇の抑制による空調機の負荷削減 (6月実施)</li> <li>・冷却設備室外機への散水装置見直し (散水力維持の為配管等の見直し) (6月実施)</li> <li>・老朽化冷蔵設備 (室外機、室内機) の入れ替え (8月実施) ……冷媒ガス R22からR410使用機器への変更</li> <li>・空調設備の入れ替え (8月実施) ……冷却能力維持と冷却機の負荷削減</li> <li>・蒸気漏れヶ所の修理、高圧蒸気系統 (2月初実施) ……総点検時の時のみ対応可能なためこの時期まで待機</li> </ul> <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加熱設備への保温材取付け (前年度の横展開)</li> <li>・室外機への散水装置見直し (散水方式の見直し)</li> <li>・老朽化設備の入替、メンテナンスによる効率化</li> <li>・冷却設備入電時間規制制御による無駄な電力の抑制 (8台)</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**